

2015年3月期 (平成27年3月期)
第2四半期決算経営報告

PART - 1. 第2四半期決算概要

PART - 2. 第1次中期経営計画(フェーズ2 ローリングプラン)進捗状況

2014年11月20日
三菱製紙株式会社

**2015年3月期第2四半期
決算実績**

決算ハイライト <連結>



(単位: 億円 %)

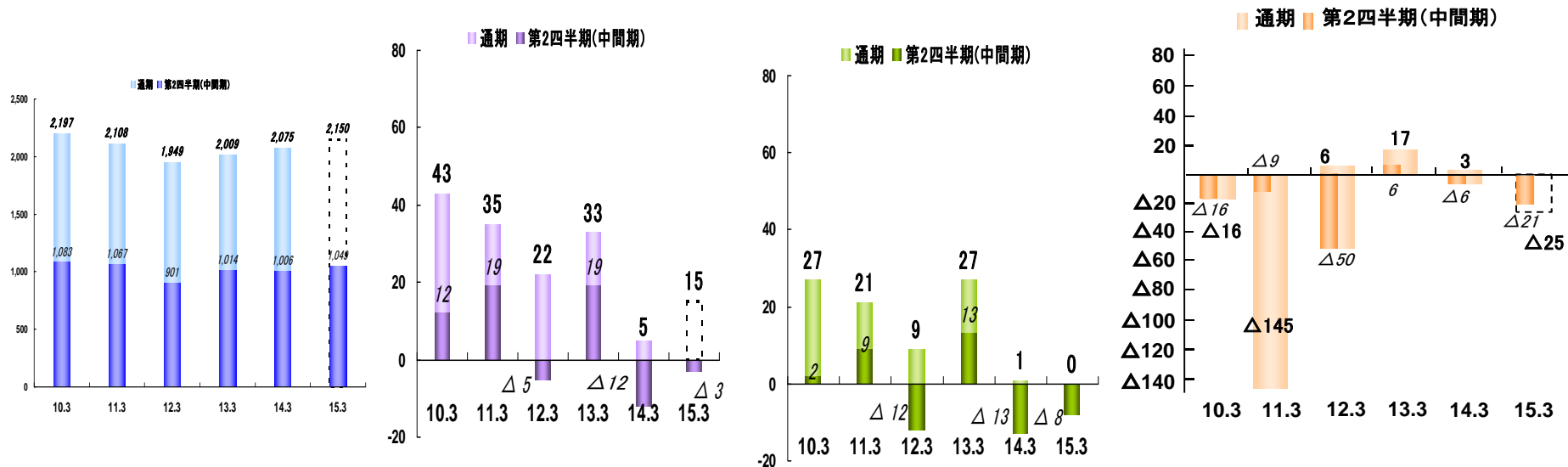
	2014年3月期 第2四半期累計期間		2015年3月期 第2四半期累計期間		前年同期比	
	金額	売上高利益率	金額	売上高利益率	金額	増減率
売上高	1,006	—	1,049	—	43	4.3
営業利益	▲12	▲1.2	▲3	▲0.3	9	—
経常利益	▲13	▲1.3	▲8	▲0.7	5	—
純利益	▲6	▲0.6	▲21	▲2.0	▲15	—

売上高

営業利益

経常利益

純利益



事業の種類別セグメント情報 <連結>



(単位:億円 %)

		2014年3月期 第2四半期累計期間	2015年3月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率
売上高	紙パルプ	777	815	38	4.9
	イメージング	209	212	3	1.9
	機能材	76	84	8	10.2
	その他	81	79	▲2	▲2.6
	消去	▲137	▲141	▲4	—
	合計	1,006	1,049	43	4.3
営業利益	紙パルプ	▲18	▲10	8	—
	イメージング	4	3	▲1	▲22.9
	機能材	0	2	2	—
	その他	2	2	0	9.0
	消去	0	▲0	▲0	—
	合計	▲12	▲3	9	—

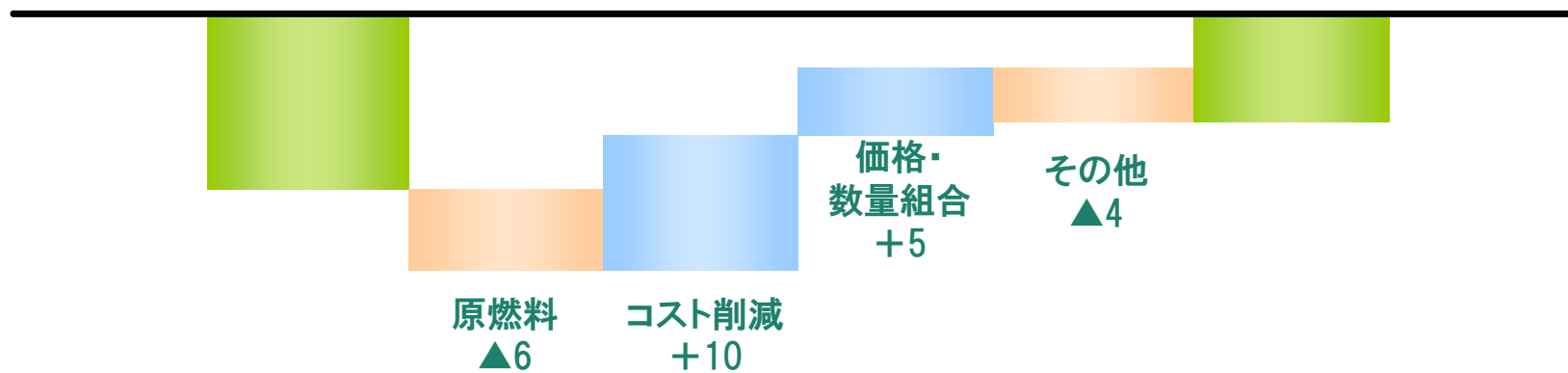
経常利益増減要因 <連結>



2015.3期第2四半期累計期間

14年3月期上期
▲13億円

15年3月期上期
▲8億円



貸借対照表 <連結>



(単位:億円 %)

	2014年3月末		2014年9月末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	金額
資産合計	2,586	100.0	2,572	100.0	▲14
流動資産	1,093	42.3	1,126	43.8	33
固定資産	1,493	57.7	1,446	56.2	▲47
有形固定資産	1,238	47.8	1,202	46.7	▲36
無形固定資産	4	0.2	4	0.2	0
投資その他の資産	251	9.7	240	9.3	▲11
負債合計	2,030	78.5	2,030	78.9	0
流動負債	1,152	44.5	1,115	43.3	▲37
固定負債	878	34.0	915	35.6	37
純資産	556	21.5	542	21.1	▲14
有利子負債	1,490	—	1,512	—	22

キャッシュ・フロー計算書 <連結>



(単位:億円)

	2014年3月期 第2四半期 累計期間	2015年3月期 第2四半期 累計期間	増減
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	38	▲19	▲57
投資活動によるキャッシュ・フロー	22	6	▲16
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲55	26	81
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	5	13	8
現金及び現金同等物の期首残高	52	84	32
現金及び現金同等物の四半期末残高	57	97	40

通期業績予想

通期業績予想 < 連結. 上上・下下・通期比較 >



(単位: 億円 %)

	2014年3月期			2015年3月期			増減					
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期		下期(予想)		通期(予想)	
							金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	1,006	1,069	2,075	1,049	1,101	2,150	43	4.3	32	3.0	75	3.6
紙パルプ	777	840	1,617	815	873	1,688	38	4.9	33	3.9	71	4.4
イメージング	209	207	416	212	225	437	3	1.9	18	8.5	21	5.2
機能材	76	84	160	84	91	175	8	10.2	7	7.9	15	9.0
その他	81	79	160	79	68	147	▲2	▲2.6	▲11	▲14.4	▲13	▲8.5
消去	▲137	▲141	▲278	▲141	▲156	▲297	▲4	—	▲15	—	▲19	—
営業利益	▲12	17	5	▲3	18	15	9	—	1	11.3	10	216.6
経常利益	▲13	14	1	▲8	8	0	5	—	▲6	▲42.4	▲1	▲100.0
当期純利益	▲6	9	3	▲21	▲4	▲25	▲15	—	▲13	—	▲28	—

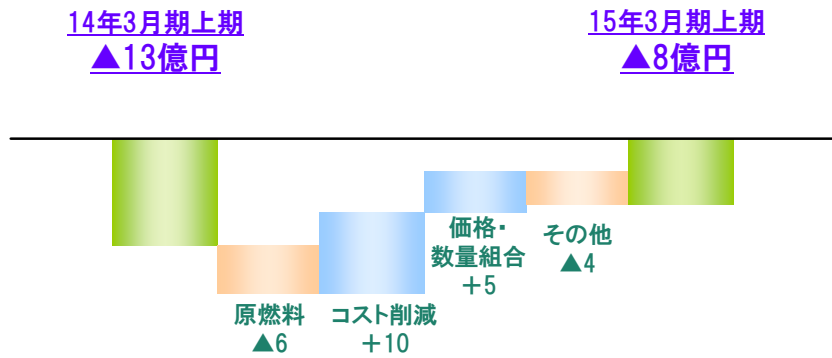
下期予想の前提: 1\$ = 105円、ドバイ原油相場1バレル = \$108

経常利益予想 増減要因

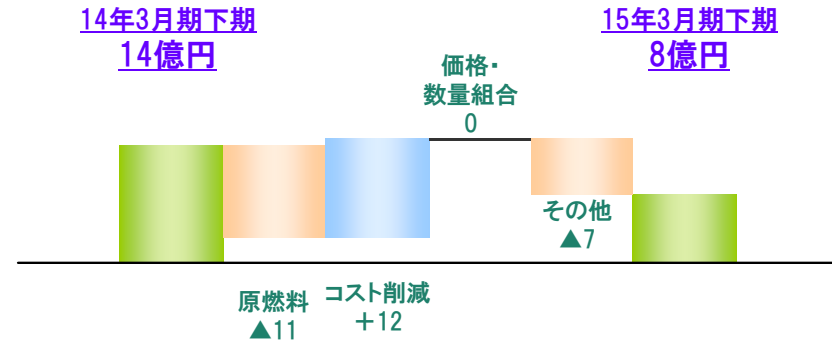
< 連結・上上・下下・通期比較 >



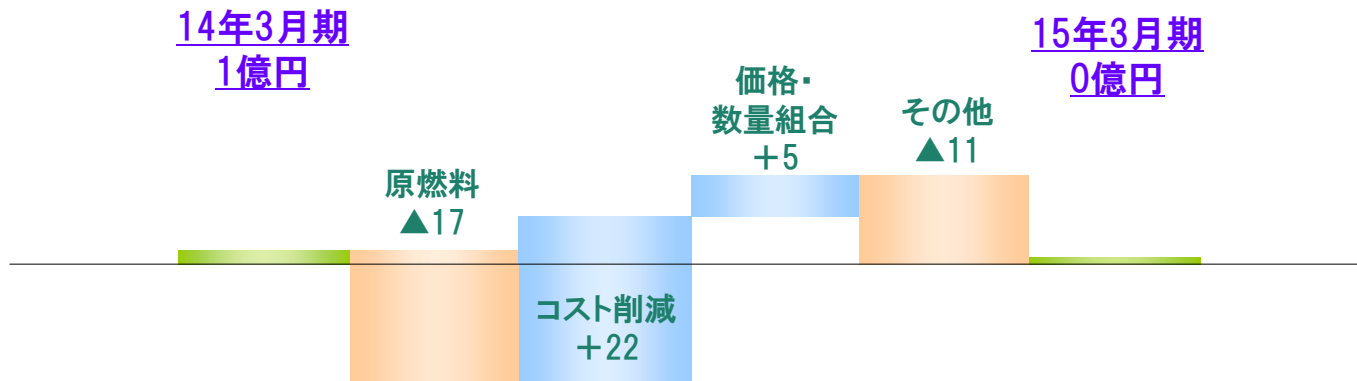
上期実績比較



下期予想比較



通期予想比較

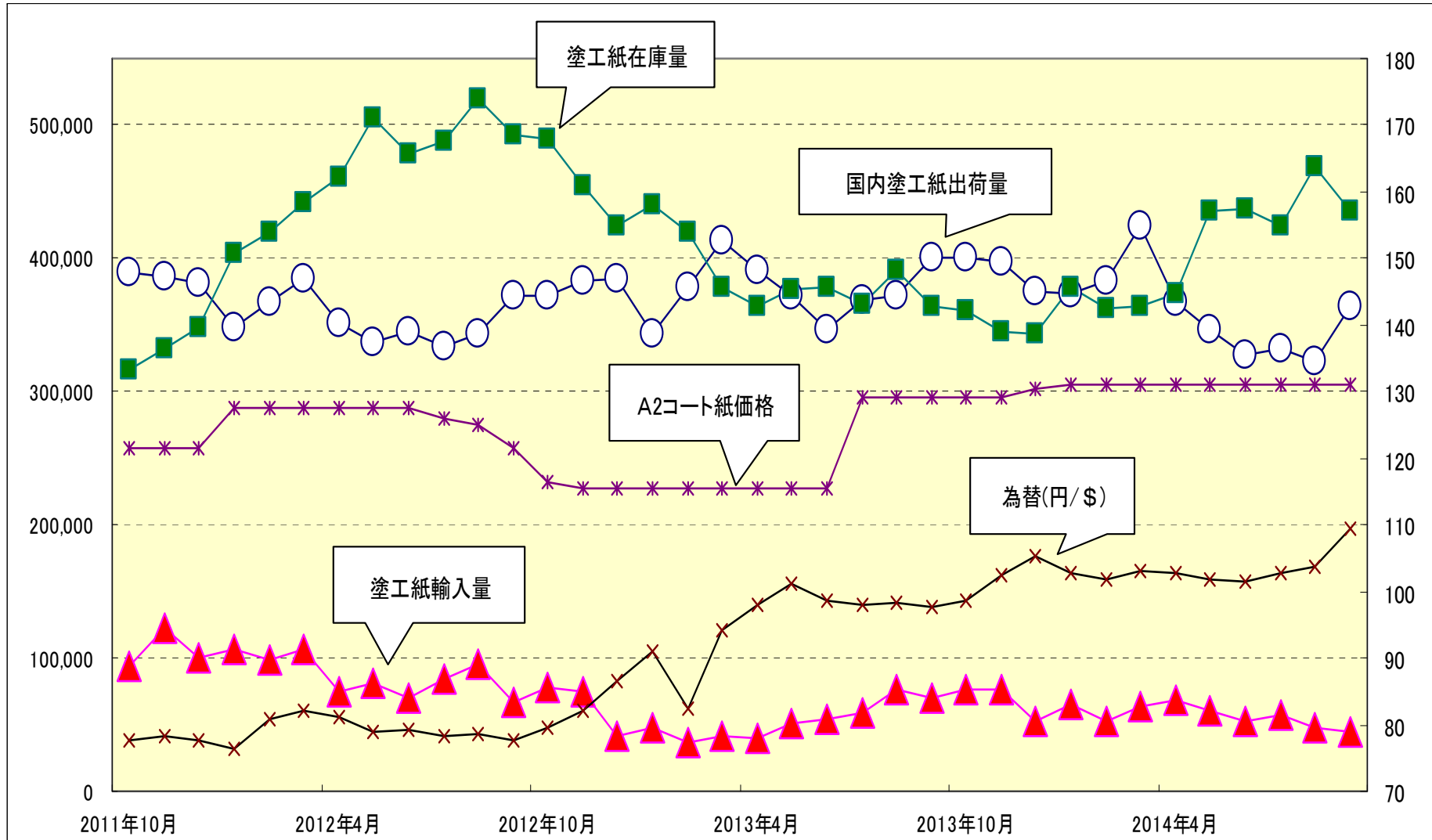


	2014年3月期 第2四半期累計期間	2015年3月期 第2四半期累計期間	2015年3月期(予想)
有利子負債	1,512億円	1,512億円	1,450億円
減価償却費	56億円	55億円	109億円
設備投資額	39億円	26億円	47億円
従業員数	4,061人	3,778人	3,700人

**第1次中期経営計画
(フェーズ2 ローリングプラン)
進捗状況**

**2014年11月20日
三菱製紙株式会社**

(参考) 塗工紙需要動向・為替推移



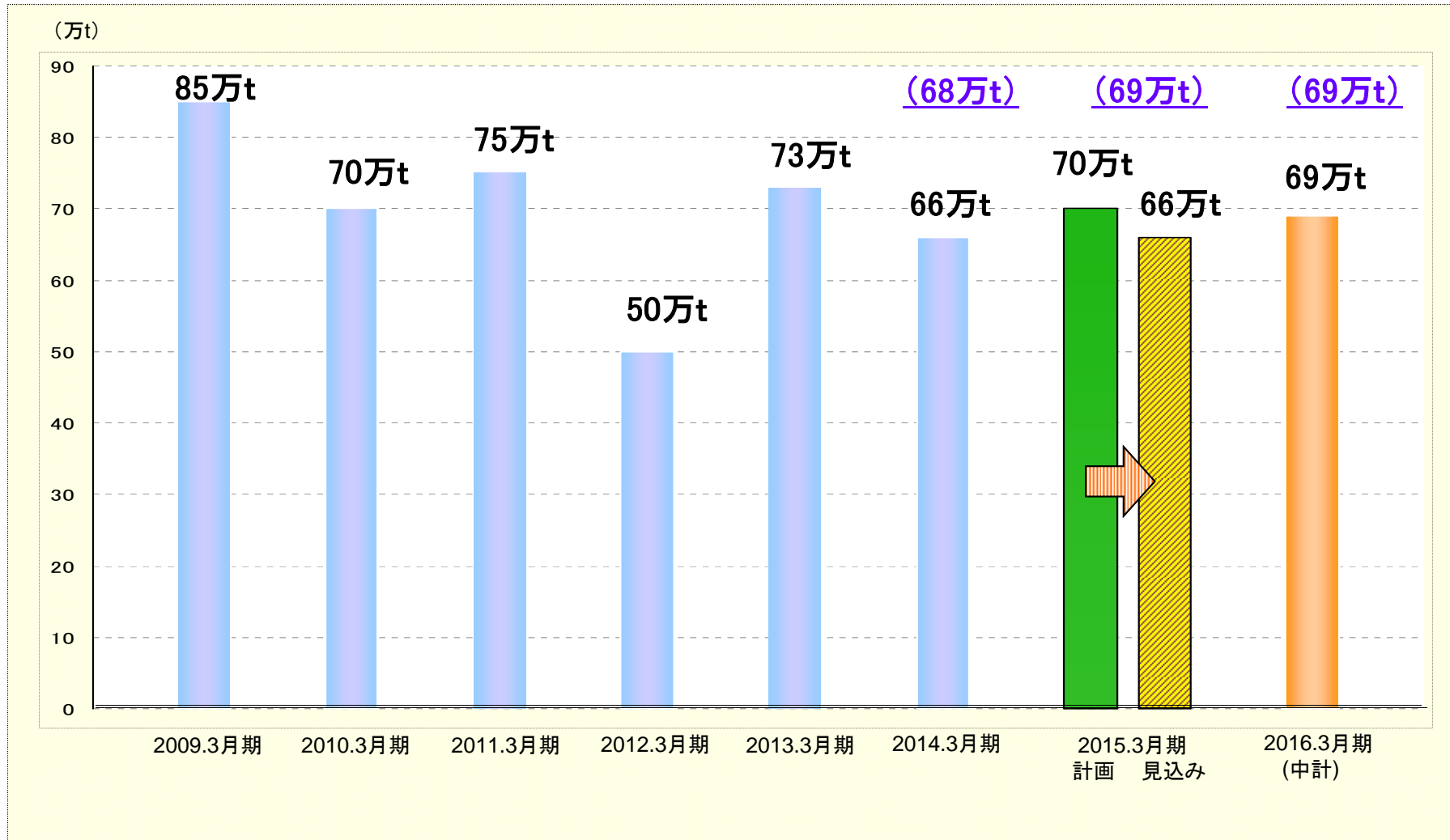
(出典:「日本製紙連合会 紙・板紙需給統計」、「財務省貿易統計」、「日本経済新聞社(商品相場)」)

(参考) 八戸工場生産量推移

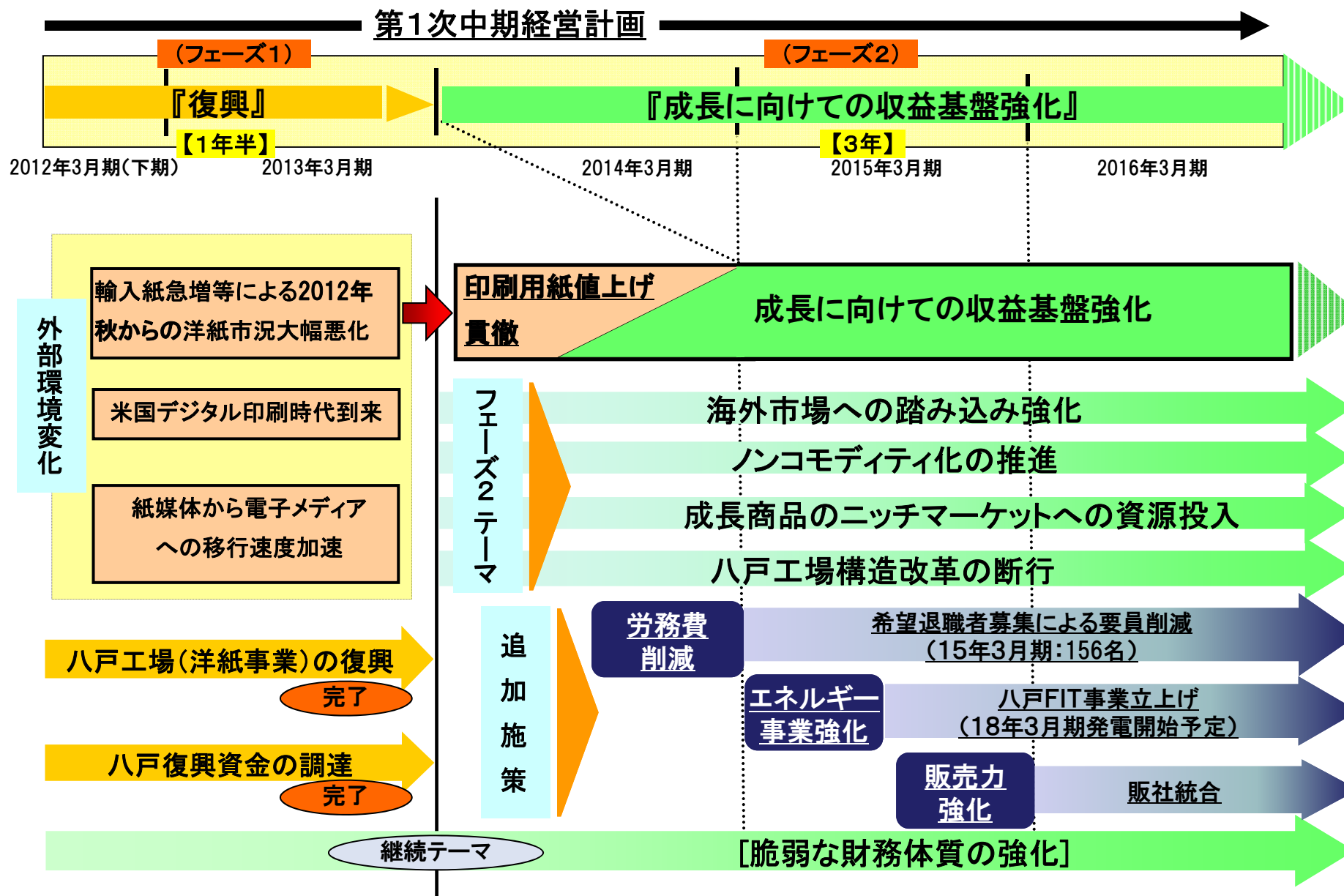


八戸工場生産量推移

()中計フェーズ2ローリングプラン計画値



中期経営計画概要と取組みテーマ



八戸工場 構造改革の進捗



効果金額	2015年3月期 13億円／年	2016年3月期 29億円／年	最終効果金額 55億円／年
八戸工場分社化	6億円／年	12億円／年	26億円／年
省エネルギー	---	1億円／年	3億円／年
配合の改良他	4億円／年	9億円／年	11億円／年
物流費改善	1億円／年	3億円／年	3億円／年
その他コストダウン	2億円／年	4億円／年	---



エネルギー事業関連

2017年以降 効果発現

12億円／年

2015年3月期 上期実績

分社化による労務費削減効果3億円、配合改良1.5億円、物流費削減1億円、その他コストダウン0.5億円により、八戸工場構造改革効果金額は約6億円。

計画通りの進捗

—追加施策— ①労務費削減



▪事業構造改革・希望退職者募集・採用抑制等による労務費削減

・要員削減

2013.3末 4,133名 → 2014.3末 3,982名 → 2015.3末 3,700名(予定)

151名減

282名減
(内156名が希望退職者数)

— 2年間で433名の減少 —

・要員減少による労務費削減効果(2014年3月期比 削減額)

2015年3月期

13億円

2016年3月期はフルに寄与
(+10億円)

2016年3月期

23億円

—追加施策— ②エネルギー事業強化



八戸FIT事業

- ・ 目 的

八戸工場の競争力向上

- ・ 進捗状況

三菱重工業の協力のもと検討中

2017年発電開始予定

期待される副次的効果(定修計画弾力化・老朽化対策)

・八戸	バイオマス(黒液)ボイラーによるFIT事業 売上高:105億円/年 投資額:約400億円 発電規模:86,000kW	2014年5月 FIT事業認定を取得 2014年6月 東北電力系統接続 受諾 事業開始に向けて準備推進中 2015年着工予定(工期:約2年)
-----	---	---

— 追加施策 —

③北越紀州製紙との販社統合について



背景

- 紙パルプ産業
国内紙需要の構造的縮小(電子媒体の拡大・人口減少等)とグローバル化が進行
→ 商品の販売力強化と流通再編による市場安定化を図ることが不可欠と判断

目的(狙い)

- お客様の利便性向上(一層のサービスと質の高い製品の提供)
- それぞれの販売ルートを活かした新規顧客の獲得
- 紙の流通業界におけるプレゼンス向上と洋紙市場の安定化

スケジュール(予定)

- 2014年8月25日 経営統合の検討開始に向けた基本合意書の締結
- 2015年4月1日 合併期日(予定)

中計フェーズ2 基本計画値



	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
	上段－計画	上段－計画	計画
	下段－実績	下段－見通し	
売上高	2,100億円	2,200億円	2,300億円
	2,075億円	2,150億円	
営業利益	17億円	57億円	85億円
	5億円	15億円	
経常利益	10億円	35億円	60億円
	1億円	0億円	
有利子負債	1,500億円	1,450億円	1,400億円
	1,490億円	1,450億円	
D/Eレシオ	2.8倍	2.6倍	2.3倍
	2.8倍	2.9倍	

		中期フェーズ2前提数値 (2013/10月)	2014年3月期 実績	2015年3月期 前提数値
為替	米ドル	100円/\$	100.00円/\$	105円/\$
	ユーロ	125円/€	134.01円/€	140円/€
	豪ドル	93円/A\$	93.30円/A\$	93円/A\$
原油	ドバイ	108\$/BBL	105\$/BBL	108\$/BBL

事業別 売上高／営業利益推移



(単位：億円)

		2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 見通し
売上高	洋紙事業	1,574	1,617	1,688
	イメージング事業	398	416	437
	機能材事業	142	160	175
	その他	165	160	147
	消去	▲270	▲278	▲297
	計	2,009	2,075	2,150
営業利益	洋紙事業	22	▲18	▲8
	イメージング事業	5	15	14
	機能材事業	3	3	6
	その他	4	5	4
	消去	▲1	0	▲1
	計	33	5	15

2016年3月期 海外売上高比率 **35% 目標** (13年3月期 29.5% 14年3月期 31.3%)

洋紙事業部目標 ⇒ 2016.3期 営業利益 48 億円

☆製品値上げによる収益確保

印刷用紙・情報用紙値上

値上げ効果のフル発現
数量・組合わせ改善

☆八戸工場構造改革の断行

・八戸工場分社化・子会社再編による労務費の削減

14年4月:MOC設立

効果の前倒し発現

☆海外営業部新設(2013.10)によるグローバル戦略の立案・実行

・輸出拡大(2016.3月期 4千t/月)

→ 産業用IJの 米国豪州他への展開、用途拡大に応じた新製品投入による市場開拓

14年3月:700t/月超

産業用IJ等:1,800t/月へ

産業用IJ等:4,000t/月

・FSC品、食品用途向白板紙、書籍用紙、高級カタログ用紙等の拡販

14年3月:FSC品15,000t/月超

FSC品拡大、新規製品拡販

中計フェーズ2 事業別戦略－イメージング事業－



イメージング事業部目標 ⇒ 2016.3期 営業利益 23 億円

☆イメージング技術を用いた成長分野への進出

・機能性フィルム等成長分野への進出

スクリーンフィルム

デジタルサイネージで採用

好評を得て受注拡大

タッチパネル用

量産対応

採用拡大へ注力

☆富士フィルムとのアライアンス強化

提携効果の確実な拡大

☆既存製品の更なる充実

・米国大手小売チェーン店で急拡大しているJミニラボへの本格参入

北米市場で浸透

アジア・欧州市場へ展開

・印刷製版材料の品揃え強化による新規顧客の開拓

TDPラインナップ拡充
刷版、製版フィルム兼用＋広幅対応

海外への積極展開

☆新規追加戦略・・・医療機器製造販売業への参入

留置針固定テープ
「ダイヤエクール」発売

開発製品の逐次投入

機能材事業部目標 ⇒ 2016.3期 連結営業利益 10 億円

☆機能性フィルター商品をクロスボーダーで生産・販売

・自動車用キャビンフィルターを日本・中国・メキシコの3極生産体制へ資源集中

中国(MFZ)生産・出荷順調に
拡大、計画比プラス

14年6月よりメキシコ
(MPJ)での生産を開始

3極をベースに
グローバル展開へ

☆水処理膜用支持体等の量産体制確立／グローバル展開へ

・RO膜支持体の中国、欧米、韓国での販売を加速

主要顧客より安定受注

主要顧客の生産拡大に追随

拡販及び
大幅な生産性アップ

☆二次電池用セパレータの量産体制確立、拡販

・リチウムイオン電池と電気二重層キャパシタ市場に基盤確立

キャパシタ市場で定期的受注

大手電池メーカーと
コラボ(協働)

リチウムイオン電池向けで
定期受注へ

☆KJ特殊紙の主要銘柄で輸出ドライブ

・円安を梃子に化粧板原紙・テープ原紙・他で海外拡販を図る

新商品上市

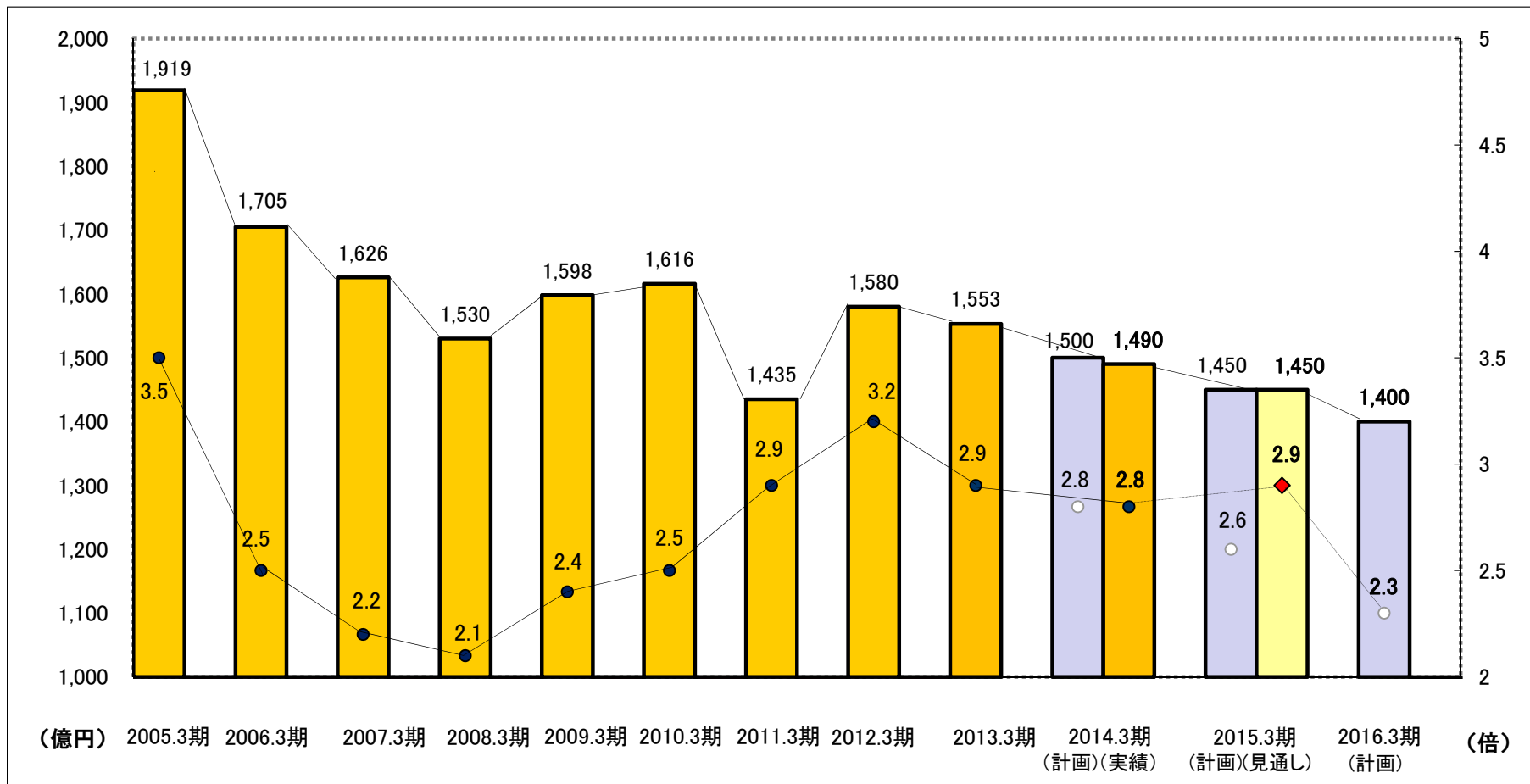
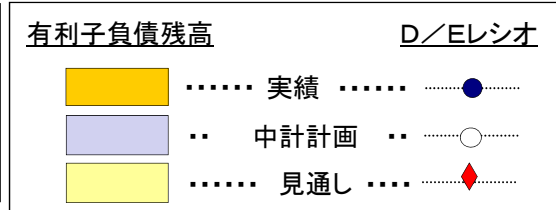
海外展開に注力

加工商品への展開

有利子負債残高・D/Eレシオ推移



	中計実績[14.3期末]	⇒	中計目標[15.3期末]	⇒	[16.3期末]
有利子負債残高	1,490億円	⇒	1,450億円	⇒	1,400億円
D/Eレシオ	2.8倍	⇒	2.6倍	⇒	2.3倍



本資料における予想数値や業績見通しに関する記述は、現時点における将来の経済環境予測や入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の実際の決算・業績数値とは異なる可能性があります。